



あさひ台

学 校 報
第 5 2 8 号
R6. 9. 27
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～

あいさつの力

子どもたちは、毎朝様々な表情で登校してきます。週末の楽しかった出来事を笑顔で報告してくれる子ども。友達とゲームの話に夢中になりながらもあいさつを欠かさない子ども。楽しいことが待っているのか急ぎ足で歩く子ども。中には伏し目がちに歩いてくる子どももいます。

ある日、一人の子どもが、うつむき加減で歩いてきました。いつもと変わらないグータッチをしてくれましたが、玄関に向かう足取りが私には重そう見えました。どうしたのかちょっと心配に思いながら、その後の様子も見ていました。玄関前で植物の世話をしていた友達が「〇〇さん、おはよう！」と、元気よく声を掛けました。すると、それまで伏し目がちだったその子どもは歩を止め、顔を上げるやいなや弾むように友達に駆け寄っていききました。

心配無用だったと安心するとともに、自分が思っているよりあいさつの力が大きいことに感動した一場面でした。

7月に実施したアンケートでは、あいさつや言葉遣いについて、子どもたちは95%以上が肯定的に回答しているのに対して、保護者は80%以下となっています。学校職員以外へのあいさつは十分ではないと感じている方もいらっしゃいます。あいさつにはどんな効果があるのか、どのようにあいさつしたらよいのか、今後も学校と家庭が連携して支援を続けていきたいものです。

【挨拶が持つ5つのパワー】

- ◇感謝を伝えられる
- ◇存在を認めているということを示せる
- ◇仲良くなるきっかけになる
- ◇印象の良さを与えられる
- ◇緊張をほぐせる

【気持ち良い挨拶のための3つのカギ】

- ❖微笑む
- ❖相手の目を見る
- ❖伝わるようなボリュームで言う

「みんなのキャリア相談室」から

「♪森山せおって～馬場目川こえて～」

9月のある朝、その登校班はいつものように歩いてきました。ワイワイとみんな楽しく歩いてきたなと思いましたが、いつもとちょっと様子が違います。おしゃべりを楽しんでいただけではなく、みんなで声を合わせて歌いながら歩いていたのでした。

その曲は…「森山せおって～馬場目川こえて～、今日も行こう五城目小学校へ～」150周年記念スクールソング「すすめ！未来へ」でした。その日は1日中、とても晴れやかな気分で仕事ができました。

この歌は、五小っ子に笑顔と元気を与えてくれています。本当に素敵な歌です。

(校長 島崎 徳之)